

弘前市協働によるまちづくり推進審議会 会議録概要（第5回）			
日 時	平成29年11月30日（木曜日）18時00分～19時00分		
場 所	弘前市役所新庁舎3階防災会議室	傍聴者	無し
出席者 (17人)	委員 (12人)	佐藤会長、生島会長職務代理者、松本委員、舘田委員、 小山委員、鴻野委員、安田委員、藤田委員、斎藤委員、 久保田委員、小野委員、村上委員	
	執行 機関 (5人)	市民協働政 策課	佐藤課長、堀川課長補佐、中村係長、齋藤主査、 福士主事
会議概要			
1 開会			
2 議事			
「答申案の承認」			
【答申案について説明（前回からの修正点）】			
【各委員の意見等】			
<p>会長：それでは、議事に入らせていただきます。前回、皆さまから更なる積極的なご意見をいただきまして、事務局がそれに答えてですね、最終案として今日皆さまにご提示できる段階になりました。皆さまのお手元にもある、これが答申案全体の完成版の案で。それで皆さまにはこの全体をご承認いただく事になりますけれども、よろしいでしょうか。</p> <p>委員：ちょっといいですか。</p> <p>会長：はい、どうぞ。</p> <p>委員：えっと、この2の4のですね、アイウとこう区分けしましたので、イのところはですね、続き文章になってる感じするので</p> <p>会長：ああ、「また」。</p> <p>委員：「また」。もしなんだったら、そこはわかるので、ない方がいいのかなと。</p>			

会長：「また」をね。ここ、文章がちゃんと切れて2つの事を言ってるって事が明確になるようにという事で、それらの人とかのね。文章改めて、ここは2つの事にきちっとわかるように直すという事でご指摘ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。それでは、意見交換会もこの修正でイを更に修正するという事で。それから5ですね、女性の参加比率について、表現を直してございますが、いかがでしょうか。

委員：よろしいでしょうか。5の3の2、イの方なんですけども、女性の人材が少ない現状においてはと、ここちょっと非常に把握しにくいんですが。人材が少ないっていう表現はおもわしくないんじゃないかと思います。

委員：多分ね、人材っていう言葉がちょっとたまに引っかかるなと思うんですよ。言われてみると私もちょっと引っかかかっていて、女性の例えばここを、「人材の」ってより女性の「該当者」くらいにしたらどうなんでしょう。能力がないって事を言ってるわけじゃないですよ。探してみたら実は女性にあまりいきあたらないっていう事なので、女性の該当者っていうくらいがすごく、ソフトかなと。

会長：なるほど、人材っていうと確かに。いかがでしょうか。じゃあ、女性の該当者が少ないで。どうでしょう。もう少し、意見をいただけますか。

委員：アのところには女性が活躍している団体を把握するなどところ、あるから、ここを上手くピックアップしていけば。

会長：いずれにしてもこう、少ないっていう表現が曖昧なんで。

委員：いいですか。ちょっと、私もかなりここ引っかかかっていて、女性が必要だけど女性である事を優先するその、固執するわけじゃないっていう事を言いたいわけですよ。という事であれば、女性比率を高める事は必要であるが、そのみ、要するにつまり女性である事のみを優先するわけではなくて、って、むしろここ切っちゃっていいんじゃないかっていうふうに思ったんです。で、もう1つ、でもアのところもちょっと気になっていて、確かに今おっしゃるように、団体の中に女性が少ないっていう事とその女性が活躍する団体を把握していないっ

という事が今の問題になっているわけなんです、この文章だと推薦を求める団体に女性が少ないといった現状もあるというような事を言っている、つまり、推薦を求める団体に女性が少ないって事を自覚して認識しているんだとすれば、推薦を求める団体を変えればいいんじゃないかという話に繋がってくると思うんですね。なので、女性が活躍している団体をまず把握するっていう事の方が先に来て、そのあと、なおかつ活躍する女性というの増やしていくというふうに順番をした方が市民向けになるんじゃないかなと。

会長：わかりました。そうすると、アのところは女性が活躍している団体を把握したり。

委員：活躍している女性、私この女性の人材を増やすっていうやっぱり人材っていう言葉にも気になってるんですけど、これは別に活躍する女性を増やすっていう意味でも、増やす為の男女共同参画に係る取り組みの推進をする事で、附属機関に女性の参画を促進する事っていうような感じに。

会長：はい、わかりました。そのようにここは直すと。それから、イのところは人材が少ない、このところをさっき人材取ったので、女性の人材が少ない現状においては、っていうのを取ってしまう。

委員：同じ事何回も言ってるね。

委員：女性委員比率を高めるのが必要。

会長：必要であるが女性である事のみを、って、これはすっきりします。じゃあ、2番目はもう単純明快にここを取ってやれば非常に明解になりますね。アのところも入れ替えるだけでいいですので修正、そういうように修正したいと思います。3はもう1つ、ごめんなさい、2です。2番いいですね。そうすると、今度は、3の3と、3の4でこれは、建物の入口にもというあれで、いかがでしょうか。3と4は。

委員：はい。5の3の4の方のなんですけど。イのところ、2行目の中央の方に、出席を依頼するといった配慮って、「といた」って、実はさっきも出てきた

んですが、そこと両方、「といたた」っていうのはいかにも口語的なんで、例えば依頼するなどの配慮するとか、「などの」とか、「という」とか、他の普通の表現に変えていただきたいなど。それとウのところ、市の各種パートナー企業とありますが、これ前回の話でも、必ずしも市内とは限らない事もあるだろうという事なので、この市のって言葉はあった方がいいんじゃないかなと思います。

会長：そうか、人の市を超えた市と委員認定っていうのありましたね、前回ね。そうすると。

事務局：この市は、市内っていう意味じゃなくて、市がやっている、市と結んでいるパートナー企業とかっていう意味の、市内とかっていう意味ではない市ですよ。

会長：ああ、市が提携している企業。

委員：でも、いずれにしても弘前市の話なんでこれね、最初からね。あえてその「市の」という必要があるんでしょうか。各種パートナーだとすれば、ここでいう各種パートナー企業っていうのは当然、市の話ですよ。それを敢えてここだけなぜ「市の」と、また敢えて、その改めて言う必要があるのかという気はしますけれども。

会長：そうですよね。じゃあ、ご指摘通り、「市」を取って、各種パートナーという事でいきたいと思います。

委員：今のところなんですが、私初めてこういう言葉を聞くんです。各種パートナー企業とか。認定企業って何でしょうか。

会長：これ、事務局いかがでしょうか。

事務局：【説明】

委員：新聞記事なんかでも目にしますね。

委員：よく市長さん、手を繋いでますよね。

会長：災害の時になんか水とか食糧を優先的に提供しますよとか、コンビニとか、ああいうのもパートナー企業でしょうか。

事務局：あれはたぶん、パートナー企業にはなっていないかもしれないですね。いわゆるその、災害時の応援協定みたいなかたちになってますけど。

会長：ああ、そういうのなの。なんかいろいろやっていますよね。

事務局：この「等」、認定企業等の「等」にはたぶん、そういうふうな、いろんなこのパートナー企業、認定企業以外にもいろんな企業に市の方でお願いしたり、そういう協定結んだりとか、やっていますので。

委員：はい。

会長：よろしいですか。これ、市役所に答申して市役所がこうしてくださいよって、市に言ってますので、市の職員がわかれば一番いいですよ。その他、よろしいでしょうか。

委員：ちょっといいですか。1つだけ。そこはいいですが、従業員などに公募委員への「へ」って入っていいものでしょうか。それともない方がいいんでしょうか。

会長：ああ、公募委員への「へ」。

委員：「への」でいいんじゃないんですか。

委員：いいですか。

会長：公募委員に応募するよう、促してくださいっていう事ですけどね。公募委員への「へ」。よろしいでしょうか。それでは、いくつか「とあった」っていうところも何か、これはなどとか等とかで表現を変えるという事でね。これ、よろし

いでしょうか。「へ」が入ってもいいじゃないかというような意見がありました。

委員：ええ、まあ。

会長：じゃあ、これはお二人ちょっとご意見があれですので。

委員：もしそこ、「への」っていうのが気になるようであれば、例えば、従業員などに公募委員に応募を促すよう働きかける事、くらいにすればたぶん。

委員：「への」ってこう。

委員：気持ちはわかります。

会長：なるほど。そうすれば、従業員などに。

委員：公募委員に応募を促すよう、働きかける。

委員：促すよう、ね。

会長：うん。企業等に対して、促してくれるように頼むっていうあれなんで。対し、企業等に対し従業員などに公募委員を。

委員：いや、促すのは従業員に促すんですよ。

会長：企業がね。

委員：そうそうそうそう。

会長：いいかな。企業等に対し、従業員などに公募委員に応募を促すよう働きかける。

委員：そうしたらここあれじゃないですか。各種パートナー企業及び認定企業などは、「に対し」じゃなくて、「は」でいいんじゃないですか。

委員：いや、「は」じゃないですよ。だって、市がすることだから。企業にしてくれって言うてるんだから。

委員：ああ、市か。

委員：市が企業に対してそういう事をしてくださいってお願いをしなさいっていう。

会長：そうか、市がお願いするんだから、そこを間違えてる。「市は」だよ。市は各種パートナー協定企業に対し、従業員などに公募委員に応募を促すよう働きかける事。これでいいかもしれない。わかりました。じゃあ、そのへんふまえて再修正をしたいと思います。そういう事でこの5の改善案に向けたというところ、いろいろご指摘受けたところを修正するという事でよろしいでしょうか。はい、どうもありがとうございます。それでは、はい、どうぞ。

委員：さきほどのそのパートナー企業とか認定企業の件なんですけど。条例の中のいろんな主体の中に企業っていうのもありましたよね。という事であるんだとすれば、うしろにつけられている資料編に例えばパートナー企業とか、認定企業の一覧もつけたらいいんじゃないかというふうに思ったんですけど。そうすると、各課でも「あっ、うちの事だ。」っていうふうに。わかってもらえるんじゃないかなど。条例に則したとしても企業が主体として入っているっていう事を考えれば、あってもなんかいいんじゃないかなという。

会長：そうですね、ありがとうございます。じゃあ、それを加えると。いいですね。それを加えてこの改善案についてはいろいろまたご指摘いただきましたけれども、最終案に活かしたいと思います。それではもう1つ、ございますが、答申案全体の答申案ですね、第4、取り組み内容の評価及び条例の見直しについての1ですね。いかがでしょうか。概ね主旨に沿っているっていう形で一括しちやってるけれども、不十分なところもあるはずだと。それらを例えば、こういう手もあるよってな事を加えたらどうかというご指摘いただいたもので、このように表現してみたわけですが。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、これも、4の1はこのように修正するという事でいきたいと思います。それでは、

7ページの4の2の条例の見直しについては特に必要ないという事でこれまではご意見いただいておりますが、それでよろしいでしょうか。はい、それでは第4のところは1だけ修正するという事、それから、5の改善点につきましてはいろいろご意見いただきましたので、そのように修正をしていきたいと思いますが、会議としてはこれが最後ですので、最終的な修正の取りまとめにつきましては、私と事務局にご一任させていただいてよろしいでしょうか。どうもいろいろありがとうございました。以上を持ちまして、今日の会議はこれで終わりたいと思います。

【終了】

3 事務連絡

4 閉会